八代市坂本町藤本地区　復興まちづくり計画（素案）

■復興に向けた課題

課題1　安心して暮らせる基盤づくり

誰もが安心して暮らせる環境とするため、道路や宅地等の嵩上げの他、道路や河川、鉄道の早期復旧、避難活動に係る多様な取り組みを推進する必要があります。

地区別懇談会などでの意見

- 住宅地を嵩上げし、安心して暮らせるよう整備して欲しい
- 鉄道路線よりも山側の道路が必要
- 道路や河川、砂防ダムに堆積した土砂の早期撤去が必要
- 道路を拡幅して欲しい
- 避難路に街灯を設置する等の整備が必要
- ヘリポートを建設して欲しい
- 高台等に避難場所を整備して欲しい　等

課題2　坂本の中心地としての機能回復

坂本町の中心地として、支所等の公共施設や日常生活に必要な施設等の整備・誘致を推進し、機能の回復・向上を進める必要があります。

地区別懇談会などでの意見

- 支所の再建箇所や嵩上げの検討、早期決定が必要
- JR肥薩線を再開して欲しい
- 病院や銀行等を再開して欲しい
- 新しい坂本支所は、複合的な機能を持たせた施設にして欲しい
- 交通利便性を良くして欲しい
- 地区全体の嵩上げが必要
- 病院、薬局、歯科医院が欲しい
- 公園の早期復旧　等

課題3　戻りたくなる活気ある地区づくり

住宅の再建や空き家等を活用した新たな居住の確保を進め、地区に戻り生活できる環境整備を推進するとともに、地区を活気づけるイベント等の開催を促進する必要があります。

地区別懇談会などでの意見

- 元の場所に住まいを再建したい
- 災害公営住宅を早期に建設して欲しい
- 空き家を活用する等、住む場所を確保して欲しい
- 商店を誘致して欲しい
- 子育て世代を誘致する仕組みが必要
- 地域の祭り等のイベントで集まる機会が必要
- 神社等の地区資源を守っていく必要がある　等

■復興まちづくりの目標

□□□□□□□□□□□□□□□□□□なまち 藤本

○○。

課題を解決することで地区が目指すべき姿（キャッチフレーズ）を検討ください。

■復興まちづくりプロジェクト（地区における取り組み）

プロジェクト1　地区の安全性を高める防災力向上プロジェクト

○河川、坂本橋の早期復旧を推進するとともに、道路や宅地部分の嵩上げや避難所・避難路の整備等、防災力の向上に取り組みます。

【具体的な取り組み】

安全な住まいの再建	・輪中堤・宅地かさ上げによる安全な居住地の確保を図ります。
河川の安全性向上	・護岸の復旧や、河川内の土砂等の撤去を進めることで、災害に対する安全性を高めるよう、取り組みを進めます。
道路の安全性向上	・日常の生活や経済活動の基盤となり災害時には避難ルートとしての役割も果たす道路の安全性向上に向けて、国・県道について要望を行うとともに、市道等については住民との連携により取り組みを進めます。
避難所の確保と避難情報の伝達	・地区内の避難所を確保するとともに、避難行動要支援者（高齢者等）への対応、災害時の情報伝達手段を確保します。

プロジェクト2　坂本町の拠点機能回復プロジェクト

○坂本町の核として、坂本支所や拠点機能の回復を推進します。加えて、利便性の向上を図るため、支所周辺の機能集約や公共交通の再検討等に取り組みます。

【具体的な取り組み】

坂本支所等の再建	・坂本町の行政機能を担う坂本支所等の早期再建を進めるとともに、住民等との連携により利用しやすい施設を整備します。
生活利便施設への連絡	・地区の生活を支える商業や医療施設等、生活利便施設への移動手段の確保を図ります。
○○（地区が主体となる取り組み）	・○○。

プロジェクト3　住みやすい環境・活気創出プロジェクト

○災害公営住宅の検討や空き家等を活用した新たな住まいの確保等の受け皿を用意するとともに、賑わいを創出するイベント等の開催などを推進します。

【具体的な取り組み】

災害公営住宅の整備	・令和2年7月豪雨で住宅を失った被災者の生活再建に向けて災害公営住宅の整備を進めます。
空き家バンク制度の活用	・空き家バンク制度を活用した取り組みを促進します。また地区において、空き家を活用した取り組みを進めます。
祭りの振興・復活	・地区に伝わる祭りの振興や復活により、コミュニティを活性化し、出身者が地区に関わる機会や地区外との交流を促進します。

ページ左の「復興まちづくりの目標」を実現するために必要な取り組み（プロジェクト）について検討ください。

※ 第２回地区別懇談会やこれまで地域の皆様からいただいたご意見をもとに作成した素案であり、未調整事項も含みます。